

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和7年12月10日
函館地方気象台

令和7年12月8日23時15分の青森県東方沖の地震における 地震被害の現地調査について（報告）

令和7年12月8日23時15分に青森県東方沖で発生した地震について、函館地方気象台は9日、「気象庁 機動調査班（JMA-MOT※）」を派遣し、震度5強を観測した渡島東部の函館市泊町で震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を把握するため現地調査を実施しました。

調査結果の概要は以下のとおりです。

※JMA-MOT=JMA Mobile Observation Team

1. 震度観測点の観測環境の点検結果

震度5強を観測した「函館市泊町（はこだてしとまりまち）」（気象庁以外の震度観測点）の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められませんでした。

なお、調査実施地点は別紙1のとおりです。

2. 地震動による主な被害状況

震度観測点から概ね200m以内の範囲で被害状況の調査を実施しました。その結果、観測点周辺での建物等の外観や住民への聞き取りから、目立った被害は確認されませんでした。

問合せ先：函館地方気象台
電話：0138-46-2211

調査実施地点



* は気象庁以外の震度観測点